

共愛学園前橋国際大学の概要

5

共愛学園前橋国際大学

国際社会学部 国際社会学科

国際社会 専攻	E	英語コース ENGLISH COURSE
	I	国際コース INTERNATIONAL STUDIES COURSE
	I	情報・経営コース INFORMATION TECHNOLOGY BUSINESS MANAGEMENT COURSE
	P	心理・人間文化コース PSYCHOLOGY HUMANITY AND CULTURE COURSE
地域児童 教育専攻	C	児童教育コース CHILDHOOD EDUCATION COURSE



名称 英語名	共愛学園前橋国際大学 KYOAI GAKUEN UNIVERSITY
理念	共愛＝共生の精神
目的	国際社会のあり方について見識と洞察力を持ち、国際化に伴う地域社会の諸課題に対処することのできる人材の養成
モットー	学生中心主義 地域との共生 ちょっと大変だけど実力がつく大学です
定員	入学定員299名 収容定員1066名

キャッチコピーは「地域の未来は私がつくる。」



共愛学園前橋国際大学のPromotion Movie

共愛学園前橋国際大学

共愛学園前橋国際大学のチャレンジ

6

教育改革

GLOCAL PROJECT

文科省4大事業同時
採択全国2大学のみ

ACTIVE LEARNING

学修成果の可
視化と教学マ
ネジメント

地方創生

在籍学生の
9割弱が
群馬出身

就職者の
7～8割が
群馬県内就職

地学一体
の学び

DX

2010年～
ユビキタス
キャンパス

Full Paper
Less Campus

文科省DXPLUS
選定
・AIによる個別最適学
修構築
・オンラインデジタル
コンテンツの活用
・LMSの完全活用

ガバナンス

教職一体ガバ
ナンス

スタッフ会議
運営センター

若手職員の活躍

共愛学園前橋国際大学

共愛学園前橋国際大学の評価と現状

7

4位

学長が教育面で注目する大学
(過去4年連続5位)

- 1位 金沢工業大
- 2位 国際教養大
- 3位 国際基督教大
- 4位 共愛学園前橋国際大
- 5位 東京工業大
- 6位 立命館アジア太平洋大
- 7位 東北大
- 8位 早稲田大
- 9位 千葉大・筑波大

11位

学長が総合的に注目する大学

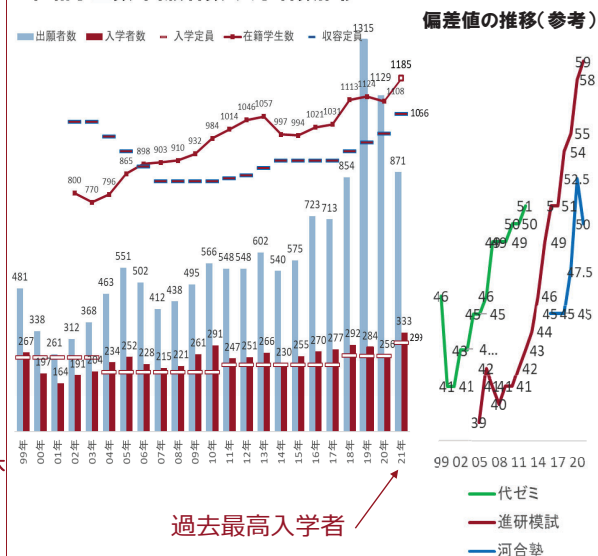
- 1位 京都大
- 2位 東京大
- 3位 東北大
- 4位 金沢工業大
- 5位 大阪大
- 6位 東京工業大
- 7位 国際教養大
- 8位 国際基督教大
- 9位 筑波大
- 10位 名古屋大
- 11位 共愛学園前橋国際大

4位

学長が注目する学長

『大学ランキング2022』（朝日新聞出版）

在籍学生数・出願者数・入学者数推移



過去最高入学者

(参考) 本学に関する書籍や事例集等

8

地域に愛される大学のすすめ

出版社：三省堂 (2011/7/26)

新たな大学像を求めて

共愛学園前橋国際大学はなぜ注目されるのか

出版社：IN通信社 (2019/11/14)

地域で学び、地域を支える。 大学による
地方創生の取組事例集

https://www.mext.go.jp/a_menu/01_d/chi_houjirei.html

今選ぶなら、地方小規模私立大学！

～偏差値による進路選択からの脱却～

出版社：レゾンクリエイト

(2018/10/19)

「大学等における「教職協働」の先進的
事例に係る調査」

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/itaku/1403495.htm

「教学マネジメントの確立に資する事例
の把握等に関する調査研究」

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/itaku/1418380_00003.htm

その他、雑誌記事等多数

共愛学園前橋国際大学



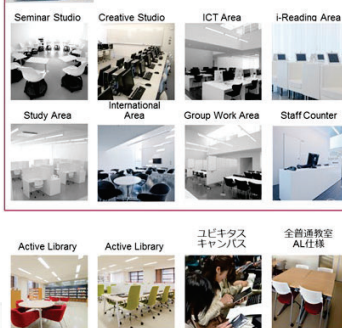
KYOAI GLOBAL PROJECT

- ①教育の質転換
- ②地学一体のグローバル人材育成
- ③学習成果の可視化とキャリアへの接続

①教育の質転換



アクティブラーニングのために
設計されたKYOAI COMMONS



教育質転換
100%の専任
教員がアク
ティブラー
ーニング実践

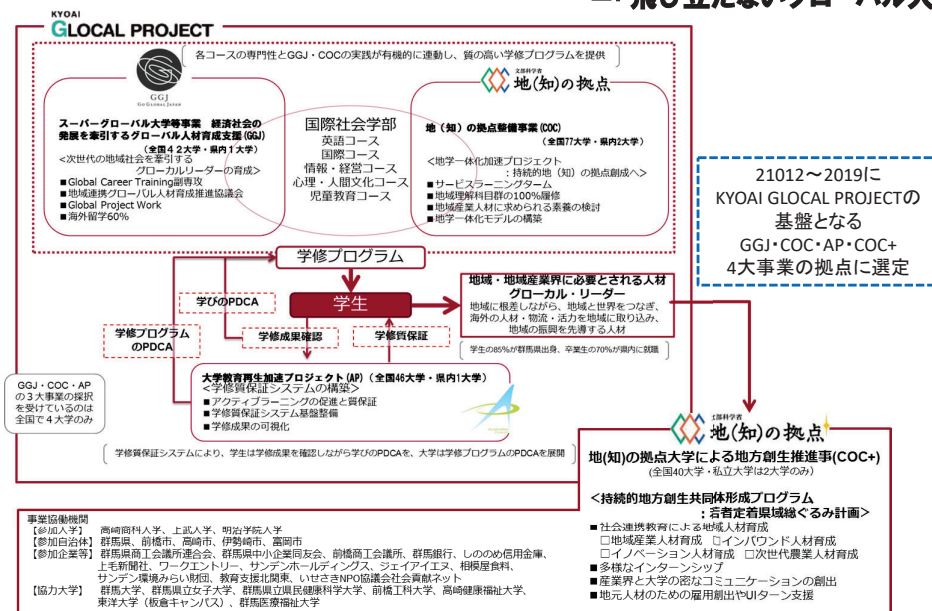
卒業までに
93%の学生
がALを受講
(ゼミ等除
く)

クラス規模
50名以下85%
10名台30%

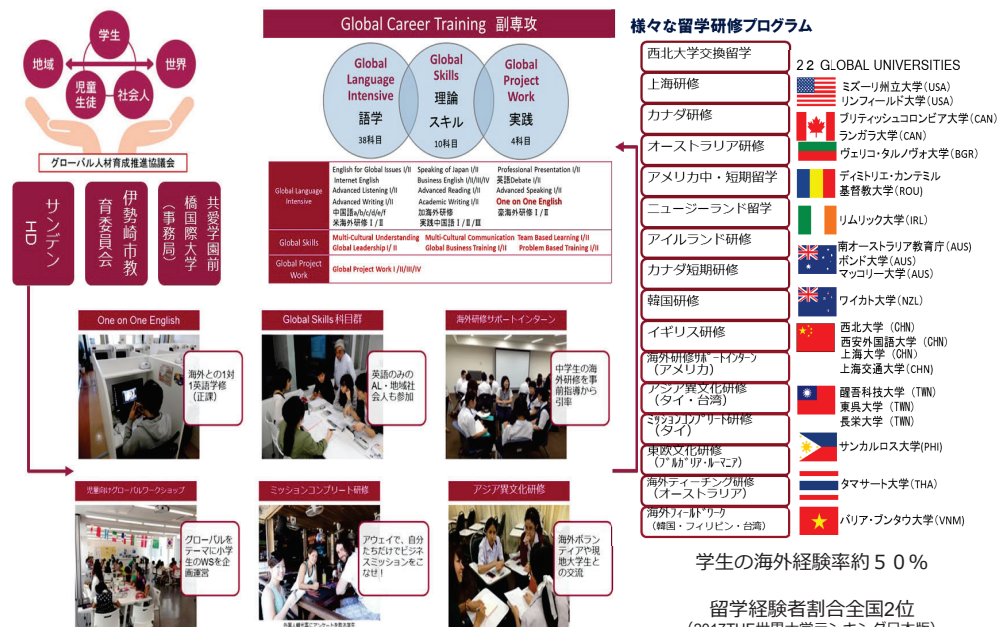
AI受講学生 93%

82%が
Active
Learning
授業

地学一体で育てる「次世代の地域社会を牽引するグローバルリーダー」
＝「飛び立たないグローバル人材」



②グローバルな学びも地学一体で取り組む



②地学一体で取り組む地域人材育成

学生企業「蒔美蚕」

特産品開発で地域企業とコラボ!

やる気の木プロジェクト

前橋市職員・しない学生の活性化PJ.

環境ネットワークキャンパス

地元企業・他大学とのPBL

Mキッズサミット

M-Change

前橋学

学校フィールド学習

ETC

児童英語教室サポーター
日本語教室サポーター
各種ボランティア

サービスラーニングターム (半年の地域留学)

長期インターンシップ

RPW(Regional Project Work)

半年間大学に來なくていい

(参考)高大接続は「学びの接続」: 高大接続は地域で始動している

高大連携コラボゼミ

県 + 県教委の事業

県教委指定
高校

高校生が大学にきて
大学生とALを展開

高崎市立高崎経済大学附属高等学校

KYOA! Global Honors Program
出版委員会における
Guinea Innovation Award
入賞学生とのビジネスプラン演習。

前橋市立前橋高等学校

前橋市×市立前橋高校×共愛学園前橋国際大学
主催教育プログラム

前橋市の総合戦略を活用した
高校生のマニフェスト作りワーク
に学生がファシリテーターとして
参加

学生が候補者役となり模擬選挙

群馬県立桐生高等学校

教員WGによるALガイドブック制作支援
ポータルサイト活用支援
生徒対象講演
生徒による課題研究/パネル発表コメントター
SSH推進指導員派遣

共愛学園高等学校

igawa Work
Label Work
Poster Design

教職員研修
修をAとして学ぶ

太田市立太田高校との連携

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校（SGHアソシエイト）との連携

- ・英語キャンパス講師派遣
- ・グローバルリーダー研修（海外）講師派遣
- ・学校運営評議員派遣
- ・2016年度県教委高大連携フォーラム実施

2016年度学生が毎週高校に通い協働学習・コラボゼミ・県内私大シンポジウム

2017年度課題研究の授業を大学が担当 単位も認定

群馬県立太田女子高校

- ・課題研究（グローバル）講師派遣

群馬県立中央中等教育学校・高崎市立高崎経済大学付属高橋

- ・SSH推進指導員派遣

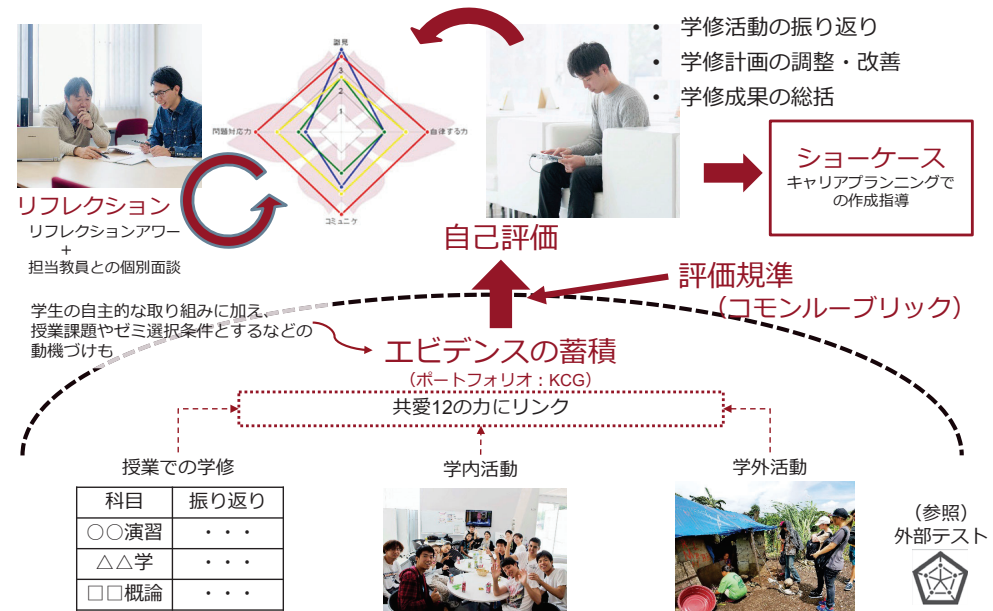
太田市立太田高等学校

- ・グローバル推進実行委員会（副会長）
- ・グローバル推進評価委員

めぶく。プラットフォーム前橋



③共愛学園前橋国際大学がめざす
エビデンスベースの自己評価による学修成果の可視化と自律的学修者の養成



— 基本方針 —

教室における対面授業を基本とし、
授業規模や危機レベルに応じて遠隔授業を併用する。

■各危機レベル（社会状況および群馬県の危機レベルに鑑み本学が定める危機レベル）における授業の実施方法は以下の通りです。

レベル	授 業
1	○150 名以下の授業は教室実施 ○151 名以上の授業は遠隔、または半分に割り、隔週で教室と遠隔のハイブリッドを検討
2	○75 名以下の授業の教室実施 ○76 名以上は遠隔へ移行
3	○全ての授業を遠隔実施 ■通信環境に不安がある学生は、大教室等において受講できるよう整備 ■ゼミのみ必要に応じて教室実施可。
4	○全ての授業を遠隔で実施 ■教室受講も不可 = 登校不可

New normalに
始動している
地域実践学修



富岡製糸場へのフィールドワーク



自治体へのヒアリング調査



共愛ファームの取組



地元企業への長期インターンシップ



市役所への長期インターンシップ



地元経済団体による寄付授業
(企業人の講義とアプリによるセッション)



慶応×共愛 前橋元気PJ



地元児童の自然体験学習支援SL



地元児童のグローバルWS実施SL



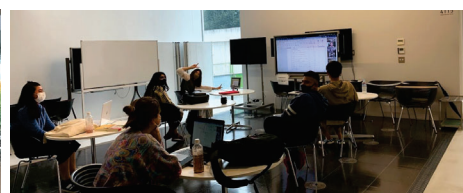
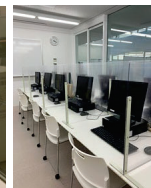
地元高校生探究学習支援SL



学内ピアサポートSL
(レポートライティング・英語・IT)

New normalに
約90%の
授業を対面で
実施

※まん延防止期間は遠隔
※対面⇄遠隔の柔軟な
Switchができる体制／耐性を整備



New normalにおける(地方)大学の姿

大学がその地域に存在する
意味を再確認

大学が「そこ」にあるのは、
「たまたま」ではないはず

予測困難な時代の学びには、
「理論」⇄「実践」・「教室」⇄「現場」・「成功」⇄「失敗」
の往還が求められる。

Online至上主義に拠らない大学の姿

仮に本学がOnlineばかりの大学になるならば、群馬県前橋市に存在する意味はなくなる。その代わり、地域人材育成の役割は果たせなくなるだろう。

同時に、「Online競争」となるなら、それに長けた大学に集約され、各地から大学の姿自体が消えることにもなりかねない。

よって、本学は、これまでも増して、群馬県という地域の中で学ぶ「リアルな学修プログラム」を強化し、その存在意義を明確にしていこうとなる。

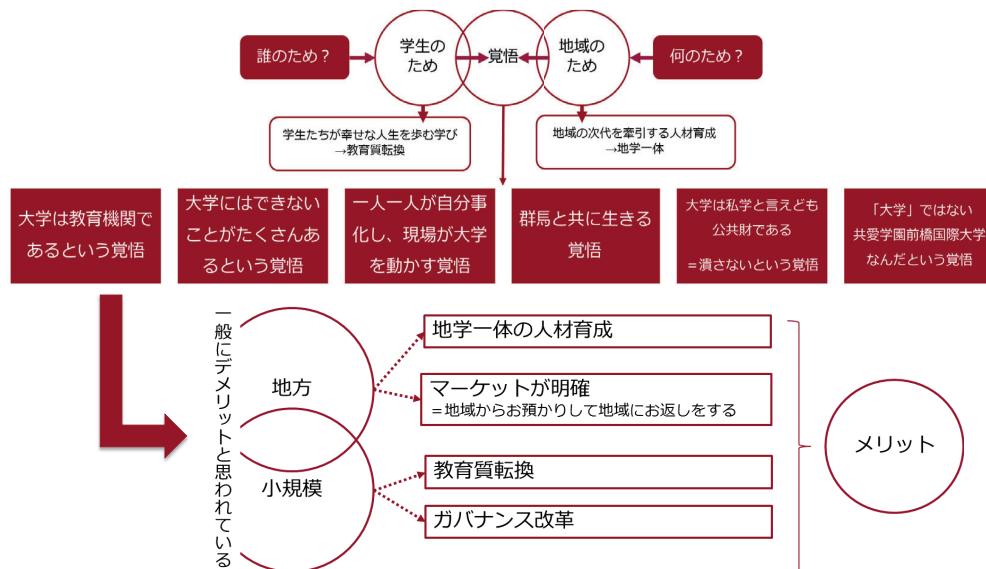


コロナ後の世界を地方大学のチャンスにするために

共愛学園前橋国際大学



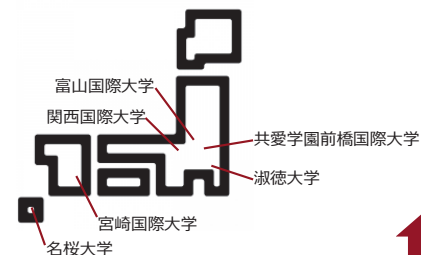
デメリットと思われてきたことをメリット＝チャンスに変える覚悟 ～共愛学園前橋国際大学の場合～



共愛学園前橋国際大学



Onlineがもたらす(地方)大学の新たな可能性



CCP6 (Consider Corona Project 6大学)
各地方の大学の学生が協働し、「街づくりと観光」など4つのテーマで調査研究活動を展開中。
各地域で調査し、**地方特色を踏まえながら**
OnlineでPBLを展開。



- 地方の大学を東京の大学から提供されるOnline授業の**学習センター**とする。
- 自ら開設原則を超えての**Double / Joint Degree**
- ただし、学費の按分等を視野に入れると既存**定員の外での運用**と、教員のクローアポが必須
- サテライト設置というハードルを越えた、東京の大学の新たな地方創生モデルとなり得るのではないか

- 地方大学が実施する**リカレントプログラム**に東京の大学から先端の知見を提供
- ただし、地方におけるリカレントニーズは、短期間・安価であり、多様な人材ニーズがあるものの各業種の人材需要規模は小さいので、地方大学のリカレントは正規学生の受け入れや事業収入は見込めない。
- よって、一定の単位あるいは時間を履修するパートタイム学生も「学生数」にカウントする必要がある。

共愛学園前橋国際大学

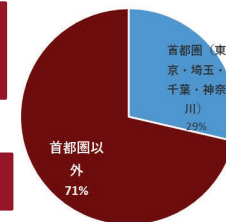


「大学の姿」の議論

様々な役割を担う大学



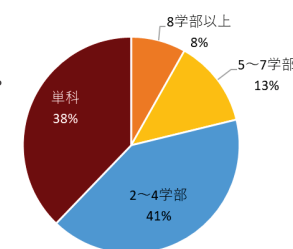
様々な外形を持つ大学



大学の多様性を踏まえた議論を

800弱の大学は、機能分化を進めつつ、多様化している。一律の「大学の姿」を描いていくことには限界があるのではないだろうか。特に、それぞれの地域でしっかりと地域人材育成に取り組んでいる、大学の典型ともいえる多くの地方大学の姿が不可視化されていないだろうか。

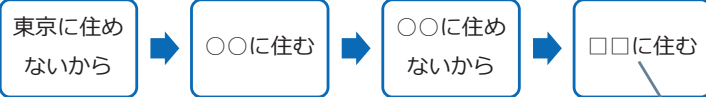
少なくとも本学は、「大学」一般ではなく、「共愛学園前橋国際大学」であると自負しているし、地方の大学で学び、地域の未来を築こうとしている学生たちにプライドと自信を持ってもらおうが私たち大人の役目だと考えている。



共愛学園前橋国際大学



新幹線中心の「東京ミニチュア」まちづくりの時代



新幹線がないことがメリットになるまちづくりの時代

前橋だから住む

人口減
で淘汰
されて
いく

この構図を大学に当てはめてみると・・・

- ミニ東大になろうとしていないか
- 大学とはこうあるべきという画一的な大学観に囚われていないか
- 自大学でしか／その地域でしか学べないことを提供できているか



大森 昭生 共愛学園前橋国際大学・共愛学園前橋国際大学短期大学部 学長

1968年、宮城県仙台市生まれ。東北学院大学文学部英文学科、同大学院博士課程にて研究。1996年に学校法人共愛学園に入職、共愛学園前橋国際大学国際社会学部部長、副学長等を経て、現職。

専門はアメリカ文学で特にヘミングウェイを研究。文部科学省中央教育審議会の各種委員等の他、群馬県青少年健全育成審議会会長等地域における各種公的委員を多数務め、各地での講演多数。3児を育てており、二人目・三人目出産に際し育児休業を取得。群馬県男女共同参画社会づくり功労者表彰。全国の学長が目する学長ランキング4位（大学ランキング2022）

略歴

- 1996年 共愛学園女子短期大学専任講師
- 1999年 共愛学園前橋国際大学専任講師
- 2003年 共愛学園前橋国際大学国際社会学部部長・同助教授
- 2004年 埼玉大学教育学部非常勤講師（～2011年）
- 2005年 群馬県立女子大学非常勤講師（～2014年）
- 2007年 共愛学園前橋国際大学教授
- 2013年 共愛学園前橋国際大学副学長
- 早稲田大学社会連携研究所招聘研究員
- 高崎経済大学非常勤講師（～2015年）
- 2016年 共愛学園前橋国際大学学長、学校法人共愛学園理事
- 2019年 学校法人東北学院評議員
- 2021年 共愛学園前橋国際大学短期大学部学長（兼務）

公的委員等（2021年度現在）

国・その他

- 文部科学省 中央教育審議会
- 大学分科会臨時委員
- 大学分科会質保証システム部会委員
- 教学マネジメント特別委員会専門委員（終了）
- 教職課程の基準に関する検討委員会委員（終了）
- 文部科学省「知識集約型社会に資する人材育成プログラム委員会」委員のほか、文科省関係委員 複数
- 日本高等教育評価機構 大学評価判定委員会委員
- 内閣官房 「地方創生に資する魅力ある地方大学の実現に向けた検討会議」委員
- 経団連 採用と大学教育の未来に関する産学協議会委員（地域活性化人材育成分科会）
- 尚絅学院大学外部評価委員
- 私立大学協会私立大学基本問題研究委員会「教育研究充実部会」委員
- 「ひらく日本の大学」調査アドバイザー（朝日新聞・河合塾）
- 日本ヘミングウェイ協会評議員

県

- 群馬県青少年健全育成審議会会長
- 群馬県男女共同参画推進委員会会長（終了）
- ぐんま男女共同参画センターアドバイザー
- ぐんま子ども・若者未来県民会議委員
- 群馬県教育委員会高大連携協議会委員
- 群馬県立桐生高等学校SSH運営指導委員
- 群馬県立前橋高等学校SSH運営指導委員
- 群馬県立中央中等教育学校SGH運営指導委員（終了）
- 福井県立三国高等学校「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」運営指導委員
- 群馬経済同友会
- 幹事・次世代育成委員会副委員長

市町村

- 県都まえばし地方創生本部有識者会議座長
- めくくプラットフォーム前橋副会長・運営委員長
- 前橋市スーパーシティ準備検討会議アーキテクト総括
- 前橋市社会教育委員
- 前橋市関係委員（非公表）
- 前橋市アーバンデザイン策定懇談会座長（終了）
- 前橋市市街地活性化専門委員会アドバイザー
- 太田市立高校グローバル推進実行委員会副会長
- 前橋市立駒形小学校学校評議員
- 前橋市立駒形小学校PTA参与
- 前橋市立木瀬中学校PTA会長
- 前橋まちづくり公社評議員
- 前橋市国際交流協会理事
- 前橋デザインコミッション理事



著書等

- 『群馬県男女共同参画社会作りのための副読本～未来へ／～なにかま～』（共著）2002年
- 『男女共同参画時代における子育て支援者養成ガイド』（共著）2003年（日本女性学習財団）
- 『地域に愛される大学のすめ』（インタビュー形式で参画）2011年（三省堂）
- 『アーネスト・ヘミングウェイ—21世紀から読む作家の地平』（共編著・編集委員長）2011年（臨川書院）
- 『ヘミングウェイ大辞典』（共編著・編集委員）2012年（勉誠出版）
- 『「深い学び」につながるアクティブラーニング』（河合塾編・共著）2013年（東信堂）
- 『「大人になることのレッスン」～「親になること」と「共生」』（共著）2013年（上毛新聞出版部）
- 『今選ぶなら、地方小規模私立大学！～偏差値による進路選択からの脱却～』（共著）2018年（レゾナクリエイト）
- 『ヒッピー世代の先覚者たち：対抗文化とアメリカの伝統』（共著）2019年（小島遊書房）